

# 魚津市 ため池 ハザードマップ - 情報面 -

## ため池の災害と課題

ため池は、大きな河川に恵まれない地域等で、農業用水を確保するために人工的に造成された池のことです。また防火用水として利用されたり、豊かな自然環境の創造にも寄与しています。

一方、ため池が決壊すると大きな被害が発生します。平成23年東日本大震災では、ため池が決壊し、人家などが大きな被害を受けました。農家戸数の減少や土地利用の変化から、決壊に繋がる管理及び監視体制の弱体化が懸念されています。



photo: 小谷池

## ため池決壊の起こり方と被害

ため池に以下のような現象がみられた場合は、決壊の恐れがあります。すぐ避難しましょう。

- ★堤防に亀裂がみられる。
- ★張りブロックが壊れている。
- ★堤防から漏水がみられる。



地震・大雨では、ため池が決壊する恐れがあるだけでなく、土砂災害など周辺で様々な災害が発生していることが考えられます。

ため池決壊と同時に注意し、まずは地震・大雨の災害情報に対応してください。



## 状況に応じた避難行動について

想定される浸水の深さによって、避難行動は異なります。浸水深想定や他の災害の情報から、現状を的確に認識し避難行動を行いましょう。

[ 浸水の深さ ]	[ どこへ ]
<p><b>3m 以上の浸水</b></p> <p>2階以上が浸水する深さ</p> <p>必ず</p>	<p><b>▲ 浸水しない場所へ</b></p> <p>避難場所などの安全な場所へ、すみやかに移動する。徒歩で状況を確認しながら、避難する。</p>
<p><b>0.5m~3m 未満の浸水</b></p> <p>2階の床下まで浸水する深さ</p> <p>時間&amp;安全な避難経路が確保されていれば</p>	<p><b>▲ 自宅などの2階へ</b></p> <p>自宅や近くの丈夫な建物の2階以上にとどまる。非常持ち出し品などを持って、移動。</p>
<p><b>0.5m 未満の浸水</b></p> <p>床上浸水 床下浸水</p> <p>少なくとも 基本的に</p>	<p><b>▲ 自宅にとどまる</b></p> <p>むやみな移動は、かえって危険。地震など他の災害の情報によっては、避難が必要。</p>

魚津市ため池ハザードマップに関するお問い合わせは、

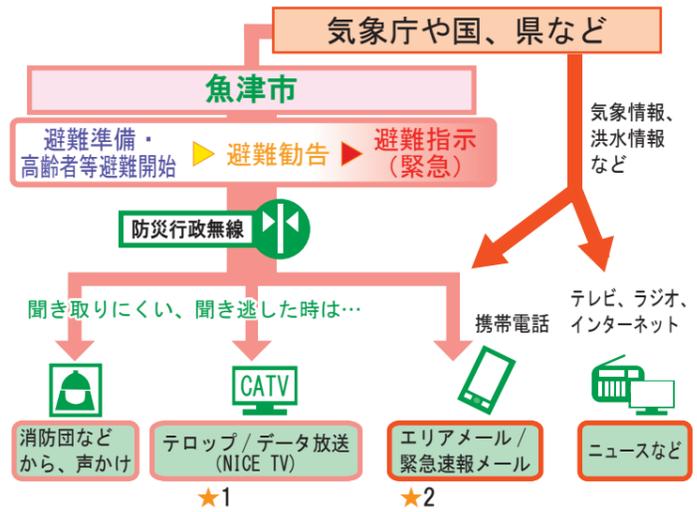
農林水産課  
農林整備係

TEL:0765-23-1037 FAX:0765-23-1053  
Email:norinsuisan@city.uzoju.toyama.jp

## 情報の伝達ルートと災害時の情報収集

### 情報伝達ルート

避難の際に大切なことは、正しい情報を入手し、あわてず冷静に行動することです。避難勧告や避難指示(緊急)が出た場合は、すみやかに避難しましょう。



★1 ケーブルテレビ画面上に防災行政無線と同じ内容をテロップで表示します。またdボタンを押してデータ放送でも確認できます。チャンネル:091ch(コミュニティ魚津)

★2 気象庁が配信する緊急地震速報や津波情報、国や自治体が配信する災害・避難情報を、特定エリアの携帯電話に一斉にお知らせします。

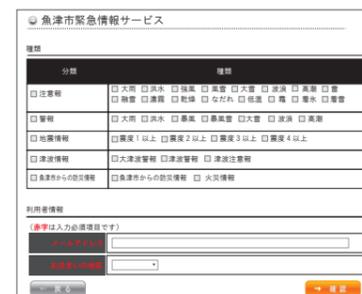
### 緊急情報配信サービス

魚津市緊急情報配信サービスに登録しましょう。大雨警報などの気象警報が発表された場合、速やかに情報を取得できます。下記アドレスにアクセスして登録し、選択した情報を取得して、防災活動に役立ててください。

- 携帯 -  
<https://service.sugumail.com/uzoju/>  
-PC-  
<https://service.sugumail.com/uzoju/member/>

★受け取りたい情報を選択可!

下記のような画面から、配信される情報を選択できます。"警報だけを受け取る"、"津波情報を受け取る"などを選べます。



魚津市緊急情報配信サービス情報選択画面イメージ

★QRコードからもOK!

下記のQRコードから登録できます。



魚津市緊急情報配信サービスQRコード

## 避難情報の発表目安ととるべき行動(例)

避難情報が発表されたら、避難情報のレベルに合わせて避難行動を開始してください。また危険だと思った場合は、避難情報に関わらず早めに避難することを心がけましょう。

避難情報の種類	発表の目安	とるべき行動
ひなんじゆんび 避難準備・ こうれいしやうひなんかいし 高齢者等避難開始	事態の推移によっては避難勧告、指示等をおこなうことが予想される場合。	いつでも避難ができるように準備をはじめてください。特に、避難行動に時間を要する方は、避難所などの安全な場所へ避難行動を開始してください。
ひ 避難 勧 告	災害の発生する可能性が高まった場合。	身の安全を確保し、家庭、近所で助け合いながら避難をはじめてください。浸水等が始まってからの避難は危険です。状況に応じて、自宅の2階以上へ避難してください。
ひなんし 避難指示 (緊急)	状況が悪化し、避難すべき時期が切迫した場合、又は災害が発生し、現場に残留者がある場合。	ただちに避難をしてください。避難が困難と思ったら、自宅の2階や近所の頑丈で高い建物へ避難しましょう。

## 日頃の準備

日ごろから、家族の集合場所・避難場所の確認など、災害が発生した際の対応方法を話し合っておきましょう。持ち物は必要最小限で、避難するときの準備をしておきましょう。



○家族の集合場所

○わが家の避難場所

防災メモ

魚津市で検索。

## その他の情報収集手段

災害時には、いろいろな手段で情報を入手できるようにしておきましょう。防災関連のページなどは、日頃から閲覧してみてください。

### 魚津市ホームページ

### 防災情報リンク集

魚津市のホームページから、「防災情報リンク集」を閲覧できます。防災ハザードマップや災害時の避難所などにリンクしています。